

文京区アカデミー推進計画 概要版

生涯学習

スポーツ

文化芸術

観光

国際交流

文京区
平成28年3月

アカデミー推進計画とは

アカデミー推進計画は、本区の生涯学習・スポーツ・文化芸術・観光・国際交流の分野に関する施策を推進するための計画です。さらに、生涯学習、スポーツ、文化芸術に、「文化施策」という観点から観光、国際交流を加え、5つの分野を相互に連携させ、施策を一体的に推進することで、区民はもとより、区内の大学や企業に通う人、さらには仕事や観光で訪れる人も含め、文京区で暮らし、過ごすあらゆる人たちが、学びや出会い、交流等の観点から豊かな時間を過ごし、うるおいのある暮らしを送ることができるようにするものです。

1. 基本理念

区内まるごとキャンパスに

—「文の京」、豊かな学びと交流を生み出すまち—

本区が有する多彩で豊かな文化・歴史・学びに関する資源を大切に保存するとともに、区内で暮らし過ごす人たちが、自分や人のため、地域のために有効に活用し、「いつでも・どこでも・だれでも」が学び、交流することを目指します。そして、それら学びと交流を通じ、多様な人たちが互いに触発しながら、「文の京」として築いてきた価値を継承し、さらには新しい価値を創造することで新たな「文の京」を区民等とともに生み出すようなまち—「区内まるごとキャンパスに」—を実現します。

計画期間中(平成28年度～平成32年度)には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。開催都市の一員として気運醸成に取り組むとともに、将来の文京区ならびに区民にとって残すべき「レガシー(有益な遺産)」を後世に引き継ぐことが求められています。

今後5年間は、東京オリンピック・パラリンピックを含む様々な機会も活かしながら、区内で暮らし、学び、働く人たち、さらには区外から訪れて過ごすだれもが、生涯学習・スポーツ・文化芸術・観光・国際交流を楽しみ、交流することを力強く推進し、『区内まるごとキャンパスに—「文の京」、豊かな学びと交流を生み出すまち—』を目指します。

2. 4つの共通目標

1 環境形成:

充実した時間を過ごせる環境形成

学びと交流を支える多様な資源を結びつけることや、新たな資源を収集すること等を通じて、充実した環境をつくり、さらに学びや交流の機会に日常的に触れられるようなまちづくりを進めます。

3 つながりの構築:

活動を通じた多様なつながりの構築

地域で暮らす人たちのつながりを生み出し、そのなかで学びや交流がさらに展開することを目指します。そのため、区民やNPO、企業、大学等、様々な主体との連携を図ります。

2 人づくり:

豊かな暮らしを支える人材育成

多彩な資源の魅力を高めつつ、広く周知する取組を進めることで、自ら学び、交流しようとする人が増え、さらには、地域での学びや交流を支え、交流から協働へと展開することを目指します。

4 価値の協創:

資源を活かした新たな価値の創造

学び・交流・協働から文京区の新たな資源が見出され、文京区ならではの価値が生まれることを目指します。そして、さらなる学び・交流へと展開することで魅力あるまちづくりに取り組みます。

3. 施策体系

基本理念と共通目標

区内まるごとキャンパスに —「文の京」、豊かな学びと交流を生み出すまち—

環境形成

充実した
時間を過ごせる
環境形成

人づくり

豊かな暮らしを
支える人材育成

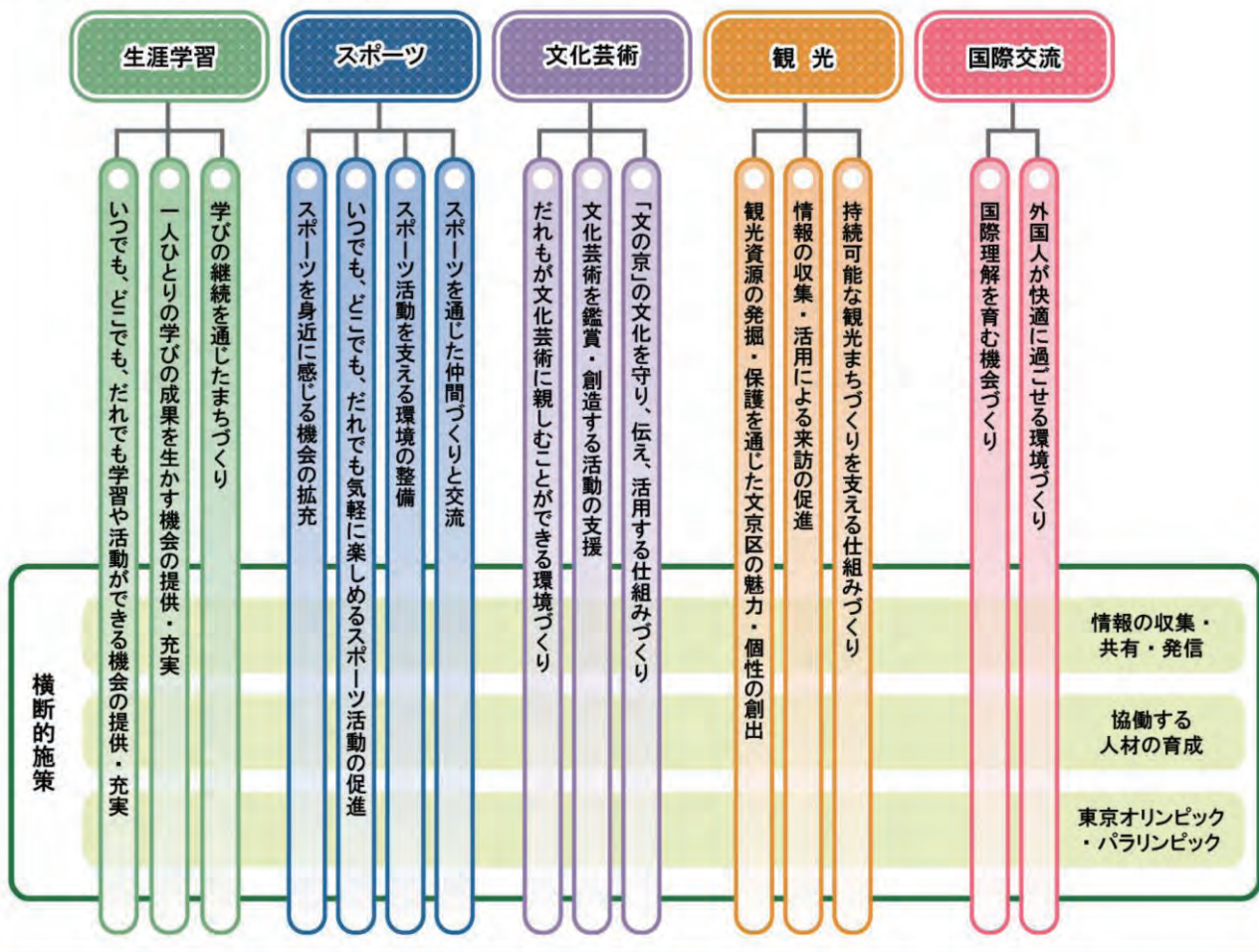
つながりの構築

活動を通じた
多様なつながりの
構築

価値の協創

資源を生かした
新たな価値の
創造

5つの分野別目標と横断的施策



「文の京」とは (平成13年文京区基本構想より)

これまで、文京区は、「文教の府」といわれ、「文化の香り高いまち」をめざして発展してきた。これに寄せる区民の誇りと愛着を大切にしたい。そのうえで、区民と区が、時代の大きな変化に適応しつつ、可能性に富んだこの地を、新たな洗練と成熟の段階へとさらに発展させていく都市自治の姿を「文の京」と呼ぶ。

「まち」とは

よりよい生活を送るため、建物や道路といったハードと、歴史・文化等のソフト両面からとらえ、また地域コミュニティや交流等の意味もこめて「まち」と表記しています。



Lifelong Learning

生涯学習

- 現在実施している事業
- ◆ 今後実施を検討する事業

生涯学習は、一人ひとりの充実感や生活の向上のために自ら学ぼうとする営みであるとともに、地域における交流や関心をともにする人たちとの仲間づくりのなかで、互いに知識を交換し、学び合う活動でもあります。さらに、生涯学習は、学び合いを通じて関心を広め、知識を深めるなかで、その知識を活かしたまちづくり活動へと展開する可能性があります。

そして、その活動を通じてさらなる学びや交流が生まれ、それをまた活動に還元するサイクルへとつながるものです。この学びと交流、活動の循環を生み出し、文京区のまちづくりへと接続するための取組を進めます。

1. いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実

生涯学習講座等の充実を図るべく、図書館等、区民に身近な学習・文化施設と連携し、ライフスタイルや障害の有無等、区民一人ひとりの状況に応じて、いつでも、だれでも自分にあった学習や活動の場を選択できる機会の充実を図ります。

(1) 多様な講座や学習機会の提供・充実

- 文京アカデミア講座 一写真①
- 文京いきいきアカデミア講座
- 企業等連携講座(メセナ講演会)
- 大学プロデュース特別公開講座
- ◆ サークル活動の充実に向けた支援

(2) 学習や活動ができる環境の提供

- 大学連携による各種事業
- 大学連携による附属図書館の区民開放
- 視聴覚資料等の貸出
- 「文の京」施設予約ねっとシステム
- ◆ 大学や民間施設の生涯学習の場としてのさらなる活用

(3) あらゆる立場の人たちに対応した学習支援の充実

- 保育室の設置及び手話通訳者の配置
- 文京e-ラーニング
- 夜間・休日の講座開設
- 学校施設の活用
- 生涯学習の相談
- ◆ 生涯学習情報の収集・発信の強化
- ◆ 障害者差別解消法を踏まえた学習環境の整備

(4) 地域の学習拠点としての図書館づくり

- 地域資料の充実
- 図書館サービスの充実 一写真②



① 文京アカデミア講座の様子



② 図書館フェスタでの雅楽コンサート

2. 一人ひとりの学びの成果を活かす機会の提供・充実

区民一人ひとりの状況に応じて、より多くの区民が主体的に学習の成果を活かすことのできる機会の充実を図るとともに、個人の学習から成果を活かす取組までの継続的な仕組みを整えることで、だれもが気軽に学習の成果を活かすことができるような仕組みづくりと人材育成を推進していきます。

(1) 主体的な活動を支える仕組みづくり

- 社会教育関係団体登録制度による活動支援
- 文京区生涯学習サークル連絡会の支援
- 区民プロデュース講座

(2) 活動成果披露の場の充実

- 生涯学習フェア 一写真③
- 区民プロデュース講座
- ◆地域アカデミーを活用した成果発表の場の整備 一写真④

(3) 人材育成・活用の推進

- 区民プロデュース講座の企画支援
- 人材育成のための講座
- 各種講座・展示会の企画実施への起用
- ◆文の京生涯学習司・文の京地域文化インタープリターの活動の周知

文の京生涯学習司…生涯学習に関する一定の知識とスキルを習得し、生涯学習事業を企画・調整できる地域のリーダーとして文京区が認定した人。

文の京地域文化インタープリター…地域文化の価値を理解するために必要な知識や技術を習得した文京区の文化資源の案内役として文京区が認定した人。

3. 学びの継続を通じたまちづくり

個々の学習や活動を活かし、互いに学び合い、交流へと展開していくなかで、知識や経験の循環を促進していくことは、地域への愛着と誇りを育み、「文教の府」といわれた文化の香り高いまちづくりへ寄与することにつながります。このような視点から、生涯学習とまちづくりの相乗効果をうながす取組を推進していきます。

(1) 学びを通じた交流・仲間づくりの推進

- サークル活動の広報
- ふれあいサロン
- ◆サークル活動の広報等の充実
- ◆コミュニティづくり・地域づくりのワークショップ

(2) 地域で支える学習環境の充実

- 大学連携による附属図書館の区民開放
- 社会教育関係団体登録制度による活動支援

(3) 学び合いとまちづくりにつながる学習の促進

- 文京お届け講座
- 「文京学」講座
- 区民プロデュース講座
- ◆区民講師制度の充実



③ 生涯学習フェアでの展示



④ アカデミー向丘



Sports

スポーツ

- 現在実施している事業
- ◆ 今後実施を検討する事業

スポーツは、心身の健康の保持・増進だけでなく、人と人、地域と地域の交流を促進する等、人々が健康で豊かな生活を送るために大きな効果をもたらします。本計画において「スポーツ」とは、一定のルールが定められた競技スポーツだけでなく、区民の年齢、性別、障害の有無や体力等に応じた健康づくりのほか、仲間同士の交流やストレス解消等を目的としたウォーキングやレクリエーションなどの気軽に楽しむことのできる活動等もスポーツにとらえ、その効果を発揮するための取組を進めていきます。

このようにスポーツという概念や活動を広くとらえ、スポーツを「する」人だけでなく、プロスポーツ等団体やアスリートによる競技種目等を「観る」人、指導者やスポーツボランティア等の「支える」人、そしてスポーツを通じた仲間づくりといったスポーツのもつ力に着目し、区民の生活がより健康で豊かなものとなる取組を進めていきます。

1. スポーツを身近に感じる機会の拡充

より多くの区民がスポーツを楽しむためには、「観る」ことをきっかけとしてスポーツに取り組むまでの一連の支援が必要となります。そのため、区民や地域のスポーツ団体、プロスポーツ等団体と連携・協働し、運動やスポーツに距離のある人が、スポーツに取り組むためのきっかけづくりの機会を充実させていきます。

(1) スポーツの楽しさを知る機会の創出

- 初心者向け、小・中学生向け、親子向け
スポーツ教室
- 体育の日事業

(2) スポーツ観戦の場と機会の拡充

- スポーツ・パブリックビューイング
- 文京LBレディース支援事業
- ◆ CATV等による地域の子どもたちの試合中継

(3) プロスポーツ等団体との連携・協力

- 日本サッカー協会との協定に基づく事業
- 講道館との協力に基づく事業
- 読売巨人軍との協定に基づく事業
- 地域のスポーツ団体等との連携による事業
- ◆ 複数の区内プロスポーツ等団体の協働による事業の開発

2. いつでも、どこでも、だれでも気軽に楽しめるスポーツ活動の促進

いつでも、どこでも、だれでもスポーツに触れられる環境を整えるために、スポーツに関心をもつきっかけづくりの機会を増やし、人と人との交流をとおしてスポーツを楽しむ意識を醸成していく取組を進めていきます。さらに、障害者スポーツの理解・普及振興を促進し、障害のある人となない人の相互理解・交流の機会を充実させます。

(1) スポーツを楽しむ人を増やす事業の展開

- 地域スポーツ団体の支援・育成
- スポーツ交流ひろばの充実
- 各種区民スポーツ大会等の開催
- ◆ 民間事業者やPTA等との連携による事業の実施

(2) 多様なニーズに対応するプログラムの提供

- ジュニア・アスリート育成事業 一写真①
- ニュースポーツ教室大会
- シニア向けスポーツ教室
- 着衣水泳講習会

(3) スポーツをともに楽しむ意識の醸成

- スポーツ指導者地域派遣
- ◆ 区の目玉となるスポーツの開発
- ◆ 東京ドームを会場としたスポーツによる、まちおこし事業の開発

(4) 障害者スポーツの普及振興

- スポ・レクひろば ○ 障害者スポーツ体験教室
- 障害者のスポーツ施設利用促進事業
- パラリンピアンと楽しむ障害者スポーツ事業
- 障害者スポーツ指導員資格取得の支援
- ◆ 障害の有無に関わらず一緒に楽しめる事業

3. スポーツ活動を支える環境の整備

指導者の育成や交流に取り組むとともに、若手指導者やスポーツボランティア等の新しい人材が活動しやすい環境づくりも進めます。また、民間事業者等と協働し、コミュニティづくりの視点から区民のスポーツを支える環境づくりにも取り組みます。また、多様なメディアを活用して情報環境を整備し、スポーツの魅力を発信します。

(1) 気軽にスポーツを楽しめる環境の整備

- スポーツセンターの改修
- スポーツ施設の整備と活用促進
- 学校施設の活用
- ◆六義公園運動場管理棟等の改築
- ◆未就学児童の遊び場開放事業
- ◆大学施設等の開放
- ◆屋外スポーツ施設の再整備
- ◆坂道を活用したウォーキングコースの開発
- ◆区立公園等で軽運動ができる環境づくり

(2) スポーツ指導者等の育成と確保、技術の強化

- スポーツ推進委員会活動への支援
- スポーツ推進委員・スポーツリーダー等の委嘱
- スポーツ指導者の育成・派遣

(3) スポーツボランティア等の活動支援

- スポーツボランティアの養成 一写真②
- スポーツボランティア情報の発信

(4) スポーツに関する情報の発信と相談体制の整備

- スポーツ交流ひろば通信の発行
- 地域スポーツ情報の提供
- 各種メディアとの連携推進
- ◆庁内連携によるスポーツ情報の一元化

4. スポーツを通じた仲間づくりと交流

スポーツを通じた仲間づくりや交流の機会を人とのつながりを育む重要な手段ととらえ、年齢、性別、障害の有無等に関わらず、また、地域や区を超えた交流をととして仲間づくりに寄与するスポーツの推進に取り組み、区民の生活がより健康で豊かなものとなることを目指します。

(1) スポーツを通じた仲間づくり

- 社会教育登録団体登録制度による活動支援
- 地域スポーツクラブの育成
- スポーツ交流ひろばの充実
- ◆参加者同士が触れ合い、交流できるスポーツイベントの開発
- ◆地域の交流に重点をおいた事業の開発

(2) スポーツを通じた交流

- 自治体交流ジュニアサッカー大会
- カイザースラウテルン市長杯文京区少年サッカー大会
- ◆東京ドームを会場としたスポーツによる、まちおこし事業の開発



① ジュニア・アスリート育成事業



② スポーツボランティア救命救急講習

- 現在実施している事業
- ◆ 今後実施を検討する事業

文化芸術は、個人の生活を豊かにし、生きがいを与えるだけでなく、異なる背景をもつ人同士の新たな交流の機会を生み出します。また、子どもや若者の創造性や感性を育み、伝統文化に親しむ人が増えることを通じて、保存・継承等にも大きな効果をもたらします。

文京区には、ホール等の施設や文化財・史跡等、文化芸術に親しむための恵まれた環境があります。こうした環境を活かし、文化芸術のもつ力を、様々な機会を通して区民が享受することができるよう、だれもが文化芸術に親しむことができる環境づくりや、鑑賞・創造する活動に対する支援を行います。また、地域の伝統的な文化を将来に向けて継承し、まちの魅力として活用するための取組を進めています。

1. だれもが文化芸術に親しむことができる環境づくり

より多くの区民が、文化芸術に親しみ、鑑賞や創作活動への一歩を踏み出すきっかけづくりとして、興味や知識を高める講座や事業を充実させるとともに、子どもや若者をはじめ、様々な区民が文化芸術に触れるための機会の創出や仕組みづくりを進めます。

(1) 文化芸術への興味や知識を高める

- 文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施
- 事業提携楽団によるコンサート
- 小・中学生のための出前コンサート 一写真①
- 文の京コミュニティコンサート
- 文の京文化発信プロジェクト
- ◆ 区内高校・大学文化芸術系サークルの出前ワークショップ

ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)…

人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型のウェブサイト。

(2) だれもが参加しやすい仕組みづくり

- 小・中学生のための歴史教室
- 文京ミュージズフェスタ 一写真②
- 子ども俳句大会 ○ 親子向けコンサート
- ◆ (仮称)「文の京」文化フェスタ

(3) 多様な主体・媒体による情報提供の仕組みづくり

- CATV・紙媒体による情報提供
- ホームページ・ソーシャルネットワーキングサービス等による情報発信
- ◆ CATV、大学等と連動した「(仮称)文京まちあるき」の番組化



① 区内中学校での出前コンサート



② 文京ミュージズフェスタ

2. 文化芸術を鑑賞・創造する活動の支援

区民が行う鑑賞や創造活動について、その内容を充実させるための支援を行うことは、主体的な活動を活性化の上で重要です。そのため、区民のニーズをとらえて企画内容の充実を図るほか、創造活動及び成果を発表する場や機会の充実を図ります。

(1) 鑑賞・参加・創造・発表の機会と場所の充実

- 「アートウォール・シビック」への作品展示
- 観客参加型公演 ○朗読コンテスト
- ◆区民等からデザインを募集するポスターコンクール

(2) 文化芸術活動をする人・団体への支援

- 吹奏楽アンサンブルコンテスト ○楽器演奏指導

(3) 人材の育成と活動支援

- 舞台芸術創造事業(大ホール) 一写真③
- 舞台芸術創造事業(小ホール)
- シビックコンサート、カレッジコンサート
- ◆文の京地域文化インタープリターによる
出前講座

3. 「文の京」の文化を守り、伝え、活用する仕組みづくり

地域の文化資源に関する資料等の収集、保存に努めるとともに、守り伝える人材の育成や活動の支援を行います。さらには、潜在的な文化資源の再発見を進めるとともに、区内外の人たちに「文の京」の魅力を知ってもらう取組や観光分野との連携を進めていきます。

(1) 地域の伝統や歴史に親しむ機会と場所の提供・充実

- 史跡めぐり 一写真④
- 文の京ゆかりの文化人顕彰事業
- 文の京ワークショップ ○新・観潮楼歌会
- ◆文京区史写真集発行記念講演会及びパネル写真展
- ◆(仮称)平成「文の京」名所図会

(2) 「文の京」の伝統文化を守り、伝える人材の育成と活動支援

- 文京ふるさと歴史館友の会の支援
- 文京ふるさと歴史館常設展示解説ボランティア
- 森鷗外記念館解説ボランティア
- ◆日本の伝統・文化に関する教育の推進

(3) 文化資源の再発見と保存・活用の推進

- 文京ふるさと歴史館特別展・収蔵品展
- 森鷗外記念館特別展・コレクション企画
- 映像資料調査・保存事業
- 文京区史編さん事業
- 歴史的建造物の活用
- 指定文化財等の保護・保存と管理

(4) 文化資源に関する情報収集・整理と発信

- 文の京ミュージアムネットワーク
- コンピューターによる館内閲覧システム
- ◆文京地域史の調査研究
- ◆隣接区と連携した文化資源マップの製作



③ 舞台芸術創造事業(大ホール・区民オペラ)



④ 史跡めぐり



- 現在実施している事業
- ◆ 今後実施を検討する事業

観光振興には文化的側面と経済的側面があります。多くの場合、経済的側面が重視され、観光振興を通じて交流人口を増やすことで、地域経済の活性化や雇用の確保等が目的とされます。本区では、産業振興との連携を図りつつも、区の特徴である歴史的・文化的な資源の継承や、区民参画による観光まちづくり等の文化的側面を重視しています。

このような観光の位置づけを大切にしながら、今後予想される観光客の増加を見据え、区内産業と適切な連携を図りながら、持続可能な観光まちづくりを進めることが重要です。その取組は、区外から訪れる観光客が文京区というまちを楽しむとともに、区民がまちの魅力を再認識し、まちへの愛着を高めることにつながり、その結果、歴史的・文化的な資源の継承や観光への区民参画が実現されると考えます。

1. 観光資源の発掘・保護を通じた文京区の魅力・個性の創出

区内の豊富な歴史的・文化的資源を適切に保護し、区の魅力と個性として高め、発信していきます。同時に、新しい魅力・個性を見出し、観光資源として磨き上げるためには、住民はもとより、若者や外国人も含め、個々人の目線で文京区の魅力を見出し、新たな「文の京」につながる観光資源として打ち出します。

(1) 文京区の魅力や個性につながる新たな資源の発掘

- 観光ボランティアガイド事業
- 観光写真コンクール
- 新江戸川公園周辺地域の魅力創出事業
- まち並みウォッチング
- 文の京都市景観賞
- ◆ 展望ラウンジ観光拠点化

(2) 「文の京」ならではの魅力の向上と新たなストーリーの展開

- 新江戸川公園の改修
- 歴史的建造物の活用
- 文の京ゆかりの文人支援事業
- 食の文京ブランド100選
- 文の京ゆかりの文人銘菓

(3) 区内の回遊性を向上させる誘導の環境づくり

- 観光リーフレット作成
- 文の京ミュージアムネットワーク
- コミュニティバス「Bーぐる」運行事業
- 区内統一案内標識整備
- ◆ 公衆無線LAN(Wi-Fi)環境整備
- ◆ コミュニティサイクル事業
- ◆ 隣接区と連携した新しいストーリー性のある観光ルート開発

(4) 文京区の魅力や個性を伝える仕組みづくり

- 観光インフォメーション ー写真①
- 観光PRポスター作成
- ◆ 観光協会ホームページ改修支援

区民の思う文京区の観光資源

平成26年度に実施した区民アンケートによると、観光振興に活用するとよいと思う文京区の観光資源で、最も選ばれたのは「谷根千」でした。100人以上(回答者数:915名)の人が選んだのは、「六義園」「湯島天満宮」「東京大学」「小石川後樂園」でした。

- | | |
|----|--------------|
| 1位 | 谷根千(130票) |
| 2位 | 六義園(128票) |
| 3位 | 湯島天満宮(121票) |
| 4位 | 東京大学(110票) |
| 5位 | 小石川後樂園(107票) |
| 6位 | 根津神社(87票) |

2. 情報の収集・活用による来訪の促進

効果的な情報発信のあり方や打ち出すべき価値を検討するため、観光客のニーズや満足度、訪問先や動線等の実態、さらに区外の人たちの文京区に対するイメージや期待を把握します。同時に、本区を訪れる人に文京区の観光情報を提供することで、区内での滞在・回遊をうながす仕掛けづくりにも取り組み、より多くの人たちが本区を訪れるよううながします。

(1) 区内外における文京区の観光ニーズの把握 (3) 効果的な双方向の観光情報発信

- 国内交流事業 ○観光ボランティアガイド事業
- 観光インフォメーション 一写真①
- ◆観光客のニーズや満足度の把握に向けた調査

- ホームページ・SNS等による情報発信
- フィルムコミッション事業
- ◆SNSの活用も視野に入れた情報発信の充実

(2) 文京区の地域ブランド力向上

- 文の京ゆかりの文人支援事業
- 文の京ゆかりの文人銘菓
- 歴史的建造物の活用
- ◆文京区の新たなブランドイメージを構築

(4) 活気ある交流の仕組みづくり

- 文京花の五大まつり等助成 一写真②
- 英語観光ボランティア事業
- ◆飲食店のメニュー多言語化・ハラール対応

3. 持続可能な観光まちづくりを支える仕組みづくり

区民が観光に対して前向きになれるよう、観光振興によってもたらされる文化的価値の高まりや経済的メリットが実感できる取組を重ね、区民と観光客の真の共存を実現させ、区民のホスピタリティ醸成につなげます。また、観光客にとってやさしい環境づくりのため、多様な主体と連携した環境整備を行います。

(1) 観光を通じた区内外のネットワーク環境の構築

- 観光協会振興助成 ○広域連携事業
- 国内交流事業
- ◆隣接区と連携した文化資源マップの製作

(3) 観光まちづくりにおけるホスピタリティの醸成

- 外国人おもてなし隊育成事業
- 観光ボランティアガイド事業
- 英語観光ボランティア事業
- ◆観光スポット周辺におけるマナー啓発

(2) 安全・安心で優しいまちを実現する環境づくりの推進

- バリアフリーの推進 ○わかりやすいまちの表示
- 防災対策での多言語対応

ハラール…イスラム法において「許可された」「合法的」という意味であり、生活全般に関わる言葉。「食」においては、イスラムの教義に則って食べることが許可されたものを指す。



① 文京区観光インフォメーション



② 文京梅まつり(文京花の五大まつり)

- 現在実施している事業
- ◆ 今後実施を検討する事業

国際交流は、日本人が外国人との交流を通じて異なる文化に触れることで国際理解を育むものであるとともに、外国人が日本のことを知る機会でもあります。日本人と外国人が交流し、相互理解を深めることは、だれもが学びと交流を楽しむまちづくりにおいて、国という壁を取り除くための実践的な取組としてとらえられます。そして、相互理解は、学びと交流を超えて、日本人と外国人がともに暮らしやすく、過ごしやすいまちづくりへとつながるものです。同時に、国際交流は、外国の文化を知ることを通じて文京区の魅力を再認識する機会でもあります。国籍を問わず暮らしやすく、過ごしやすいまちを実現するとともに、区の魅力を高める交流を進めます。

1. 国際理解を育む機会づくり

国際理解に向けた交流をうながし、そこで育まれた国際理解に基づいて、さらなる交流を生み出すため、交流の機会の充実や、そのための情報の収集・共有・発信を進めることで、交流のバリアを取り払い、「マインド」の醸成や動機づけを行います。同時に、本区の強みを活かし、相互にメリットのあるかたちで海外都市との交流を進めるなかで、生涯学習事業や交流事業への展開を図り、区民の国際理解の機会につなげるよう努めます。

(1) 交流の機会の拡充

- 国際交流フェスタ 一写真①・②
- 地域連携活動事業 ○ 国際理解教育の推進
- ◆ 日本語による交流機会の提供
- ◆ 留学生との交流機会の提供
- ◆ 子どもへの交流機会の提供

(3) 国際理解に向けた情報の収集・発信・共有

- 区報、生活情報誌、CATVによる情報提供とホームページ、SNS等による情報発信
- 生涯学習講座での国際理解推進
- 区内大学、ボランティア団体等との協働・連携
- ◆ 区内の関係機関との連携

(2) 海外都市との交流の活性化

- 姉妹都市等、海外都市との交流の活性化 一写真③・④
- ホームステイ生徒交換事業
- カイザースラウテルン市長杯文京区少年サッカー大会
- ◆ 海外都市訪問ツアー
- ◆ アジア諸国や英語圏の都市等、新たな海外都市との交流
- ◆ カイザースラウテルン市との姉妹都市提携30周年記念事業



① 国際交流フェスタ(書道パフォーマンスの様子)



② 国際交流フェスタ(着物着付け)

2. 外国人が快適に過ごせる環境づくり

区内に在住する外国人や区内大学に通う留学生が、住みやすいと感じ、ひいては文京区での暮らしを楽しむことができるよう、必要としている人に届く情報提供や支援をはじめ、区内の歴史・文化資源と接し、理解する機会等の生涯学習事業を展開します。さらに、文京区を訪れる外国人観光客も快適に過ごせるよう、多言語での対応はもとより、文化的な背景を踏まえたサービスや外国人を快く受け入れる住民の「マインド」の醸成に努めます。

(1) 区の資源を活用した、歴史文化等への理解の推進

- 文京区紹介映像多言語版の公開
- 英語観光ボランティア事業
- 観光リーフレット作成
- 食の文京ブランド100選

(2) 外国人の生活・滞在に対する支援

- 外国人の日常生活支援のための多言語化
- わかりやすいまちの表示
- 通訳クラウドサービス活用による外国人相談等
- 防災対策での多言語対応
- 図書館における外国語の新聞・雑誌の提供
- ◆飲食店メニューの多言語化・ハラール対応
- ◆オリンピック・パラリンピックに向けた都市ボランティア等の育成

文京区と交流のある世界の都市

カイザースラウテルン市

文京区が1986年から姉妹都市提携を結ぶドイツ南西部の都市。2016年で、姉妹都市提携30周年を迎えます。

2008年より、ワールドカップドイツ大会を記念した市長杯文京区少年サッカー大会を開催しています。

—写真③



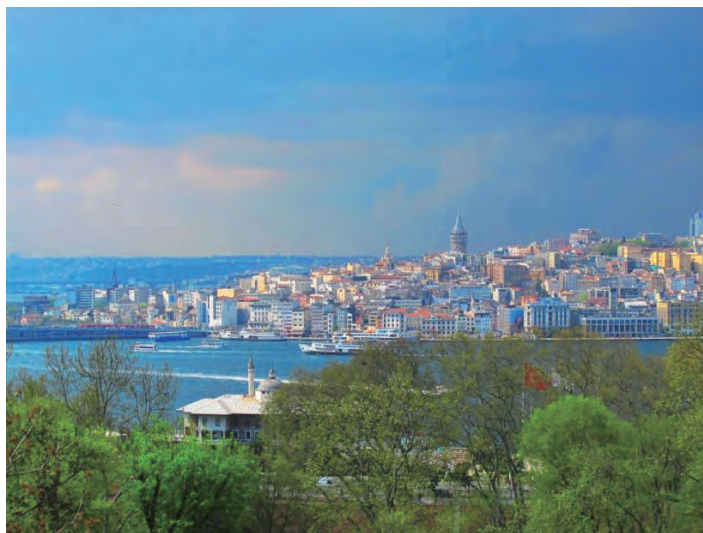
ベイオウル区

文京区が2015年に友好都市提携を結んだトルコ共和国イスタンブール市の新市街の中心区。

JICA(独法国際協力機構)による草の根技術協力事業の一環として、ベイオウル区における防災支援に取り組んでいます。—写真④



③ カイザースラウテルン市



④ イスタンブール市ベイオウル区



横断的施策

関連する分野を次のマークで示しています。

- 学…生涯学習
- ス…スポーツ
- 芸…文化芸術
- 観…観光
- 国…国際交流

横断的施策とは、生涯学習・スポーツ・文化芸術・観光・国際交流の5つの分野に共通するテーマや課題です。これらは、各分野で個別に事業を行う場合でも、共通の考え方や方向性をもって取り組むことが、本計画を推進していく上で大切です。また、分野間での連携した取組も横断的施策に該当します。

本計画では、「環境形成」「人づくり」「つながりの構築」「価値の協創」という4つの共通目標に照らし、横断的施策として、「情報の収集・共有・発信」「人材育成」という2つの課題に加え、この5年間に於いて社会的なインパクトをもたらすであろう東京オリンピック・パラリンピックを掲げます。

※今後の区内外の情勢に合わせ、横断的施策として共通の考え方による取組が新たに生じた場合についても、柔軟に対応します。

1. 情報の収集・共有・発信

スマートフォンの普及やSNSの登場とともに、情報の発信者が多層化し、相互に情報が共有されることで情報が拡散されるような網目が形成されており、今後もこのような変化は起こると考えられます。

そこで、広報紙やチラシ、ポスター等を用いた従来の情報発信も継続させつつ、適宜変化する情報環境・メディア環境をとらえ、効果的な情報発信のために適切なメディア活用を図ります。

一方、本区がすでに把握している様々な資源のほか、区内に潜在する人・団体・活動・場所等、本計画の理念・目的に沿ったあらゆる資源を情報として収集し、庁内ならびに区民と共有することを図ります。

●情報の収集・共有・発信に関連する事業

- 区報、生活情報誌等による情報発信 学 ス 芸 観 国
- ホームページ・SNS等による情報発信 学 ス 芸 観 国
- CATVによる情報提供 学 ス 芸 観 国

今後実施を検討する事業

- ◆公衆無線LAN(Wi-Fi)環境整備
- ◆新たなSNSの活用も視野に入れた情報発信の充実
- ◆隣接区と提携した文化資源マップの製作
- ◆文京区の新たなブランドイメージの構築
- ◆隣接区と提携した事業内容の発信
- ◆CATV、大学等と連動した「(仮称)文京まちあるき」の番組化
- ◆シティプロモーション事業の拡充

2. 協働する人材の育成

本計画の実現のためには、区のみならず、区民や地域活動団体、NPO、大学、事業者等との連携を図り、それぞれの強みを活かしながら取り組む必要があります。近年、公共性が見直されるなか、区民との協働をめぐる状況も変化してきました。

これを機として、「協働・協治」の理念に基づき、学びと交流という活動から、人と人とのつながりを生み出し、コミュニティへと展開するという段階を経ながら、徐々に他者や地域にかかわるようになり、協働する人づくりを進めます。

●共同する人材の育成に関連する事業

- 人材育成のための講座開催 学 芸
- スポーツ指導者の育成 ス
- スポーツボランティアの養成 ス
- 文京ふるさと歴史館友の会の支援 芸
- 文京ふるさと歴史館常設展示・森鷗外記念館解説ボランティア 芸
- 観光ボランティアガイド事業 観
- 英語観光ボランティア事業 観 国

今後実施を検討する事業

- ◆オリンピック・パラリンピック大会に向けた多様なボランティアの育成
- ◆コミュニティづくり・地域づくりのワークショップ
- ◆スポーツボランティアの拡充

3. 東京オリンピック・パラリンピック

今後実施を検討する事業

- ◆ 飲食店等のメニュー多言語化及びハラール対応
- ◆ 隣接区と提携した文化資源マップの製作
- ◆ オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムの実施

東京オリンピック・パラリンピックは、スポーツはもとより文化芸術、観光、国際交流に及んでおり、区民協働という観点では生涯学習も含んでおり、アカデミー推進計画と関係が深いものです。また、東京オリンピック・パラリンピックを契機に、本区の様々な魅力が外国人観光客を呼び寄せることも考えられます。

そこで、計画本来の基本理念や共通目標にかなった将来にわたる「レガシー(有益な遺産)」を残すことを特に重視していきます。東京オリンピック・パラリンピックを「きっかけ」のひとつとしてとらえ、区ならびに区民が蓄積してきた価値を活かし、新たな資源、新たな価値を得るための事業を、これまでと変わらず推進していきます。さらに、そこで生まれる新たな資源、新たな価値を、次のアカデミー推進計画へとつなげていきます。

文京区2020年東京オリンピック・パラリンピック取組基本方針

取組の方針

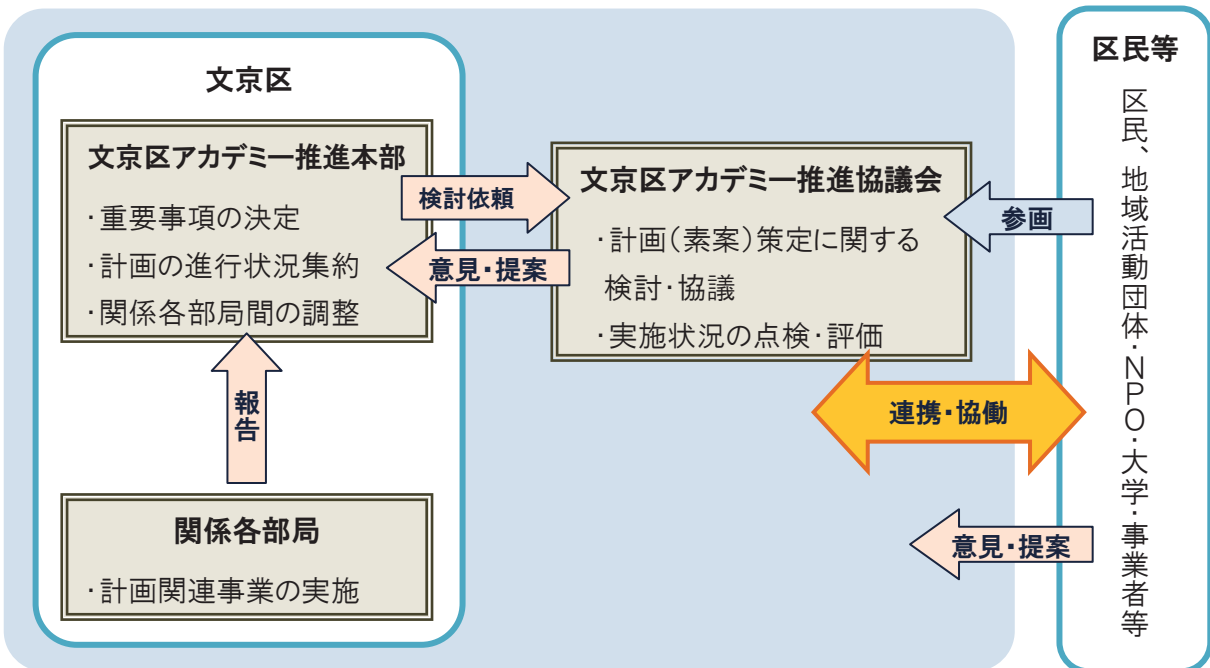
- ▶ スポーツ、文化を普及し発展させる
- ▶ 国内外からのお客様を迎えるため、観光・商業の活性化を行う
- ▶ 大会に向けて気運を高め、区全体でおもてなしをする
- ▶ 大会を成功させるための準備を行う

●東京オリンピック・パラリンピックに関連する事業

- ジュニア・アスリート育成事業 **ス**
- 障害者スポーツ教室 **ス**
- スポーツボランティアの養成 **ス**
- 文の京文化発信プロジェクト **芸**
- 外国人おもてなし隊育成事業 **観 国**
- わかりやすいまちの表示 **観 国**

推進体制

アカデミー推進計画は、区と区民等がともに「連携・協働」に基づき推進するためにも、庁内のみならず、区民等からなる体制による事業評価が求められます。そこで、各種事業に取り組む庁内組織である「文京アカデミー推進本部」と、計画における事業の実施状況の点検及び評価を行う区民参画組織「文京区アカデミー推進協議会」からなる推進体制をとります。





区内まるごと キャンパスに

文京区アカデミー推進計画<概要版> 平成28年3月

発行／ 文京区 アカデミー推進部 アカデミー推進課

〒112-8555 東京都文京区春日1丁目16番21号

電話番号：03-5803-1307

印刷物番号 J0415051